

まいど!大阪EXPOプログラム



1. 新梅田シティdeエコツアー (積水ハウス梅田オペレーション株式会社) P. 1-2
2. 水都大阪サステナブルクルーズ (大阪水上バス株式会社) P. 3-4
3. “食”から学ぶ防災・減災プログラム (株式会社魚国総本社) P. 5-6
4. 万博エバンジェリストプログラム ~伊藤忠商事に学ぶ“三方よし”の志~ P. 7-8
5. 留学生と学ぶ『万博ワークショップ』 P. 9
6. “食”から探究!留学生とダイバーシティウォーク P. 10
7. 留学生と学ぶエコウォーク ~新梅田シティde”しぜんと考える”~ P. 11-12
8. 大阪発!コミュニケーション教育『世界とつながるグリーティング』
(ナイトプログラム) P. 13
9. 大阪の歴史に学ぶ「金融教育プログラム」(大同生命保険株式会社・株式会社大阪取引所) P. 14-15
10. 潜入!自動車研究所~損保ジャパンと日産EVに学ぶ 未来社会のリスクマネジメント~ P. 16-17
11. 大阪の企業家精神に学ぶ~豊かな社会の実現に向けて~(大阪企業家ミュージアム・野村證券株式会社) P. 18

施設名	梅田スカイビル 空中庭園展望台
受入可能時期	通年
受入可能時間	10時00分～17時00分 ※9:30～受け入れ希望の場合は別途ご相談ください。
所要時間（目安）	約3時間
受け入れ人数	最少20名／最大200名まで
プログラム費用	2,420円（中・高校生）
予約受付期間	実施日の1年前～1か月前まで
最寄り駅	JR大阪駅中央北口から徒歩約7分
バス駐車場	有（事前予約要／有料）
公式HP	https://www.skybldg.co.jp/

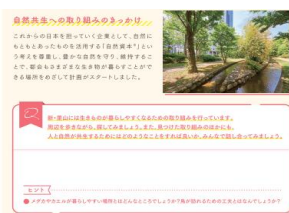
梅田スカイビル空中庭園展望台

1993年に完成、地上40階建てビル2棟を上部で連結し、39階の空中レストラン、40階の展望ギャラリーに加え、屋上部分では地上170mの風に吹かれながら、大阪の街並みを一望できる「空中庭園展望台」があります。

建物が連結することによる災害時のメリットは？
どういった観点からこの建物は建築されたのか？
2025年大阪・関西万博のテーマとも連動する「自然との共生」「防災・減災」の視点も取り入れながら
海外観光客に大人気の大阪観光地の裏側とそこで働く人々（企業）の取り組みを学びます。フィールドワークの最後には展望台の屋上から大阪の景色を一望いただけます。



専用ワークブック「しぜんと考える」



日本を代表する大手ハウスメーカーのサステナビリティとは？

大阪のランドマーク的な存在「梅田スカイビル 空中庭園展望台」は、大手ハウスメーカー積水ハウスグループである「積水ハウス梅田オペレーション株式会社」様によって運営管理されています。このビルの地下にある非公開エリア熱源機械室「マシズー」には、大手メーカー企業の機械が並び、ビル全体の電力供給や、災害時の非常用電源の備蓄、CO2削減などに取り組んでいます。

超高層ビルの両サイドには、約8,000㎡にも広がる田畑「新・里山エリア」や、溪流が流れ、季節になるとホテルも見られる「鎮守の森」が広がっており、人が少し手を加えることにより都会の中心でも自然景観を保ち、人と自然の共生を実現しています。

都会の中心で人と自然の共生を実現しながら、環境にも配慮し、災害時に社員の人々のいのちを守る対策をおこなう新梅田シティの企業の取り組みは、まさに**大阪・関西万博のテーマとも連動**しています。

プログラム内容

- ・企業講話（30分）（会場費はプログラム費用に含む）
- ・専用ワークブックを用いて「中自然」「里山エリア」の見学
- ・非公開エリア「MACHINE ZOO（マシズー）」入場
- ・空中庭園展望台入館料込

※スカイビル地下レトロ食堂街「滝見小路」にて食事券手配も可能（500円単位で金券手配可）

プログラムからの学び

企業と企業が連携し、地域一体となりSDGs達成に向けて取り組む姿を学ぶ。

専用ワークブックにそって新梅田スカイビル内の非公開エリア熱源機械室『MACHINE ZOO（マシズー）』、自然との共生をテーマに積水ハウスの「5本の樹」計画を体現した『花野～新・里山』、都会に生まれた鎮守の森『中自然の森』を散策していただきます。

非公開エリアから学ぶ、企業の「減災」や「CO2削減」に向けた取り組み、自然と都会の共存を実現する積水ハウスの理念に触れながら、**生徒様が自然と考え、学べるプログラム**です。

新梅田シティdeエコツアー モデルスケジュール

スケジュール例

13:20	梅田スカイビル 指定会場にご集合
13:30	
14:00	積水ハウス梅田オペレーション株式会社様による サスティナビリティ講話(質疑応答あり)
14:30	非公開エリア「 MACHINE ZOO (マシンズー)」見学
～	「中自然の森」 「新・里山」
16:00	班別フィールドワーク
～	
16:30	空中庭園展望台(39階・40階・屋上エリア)自由見学

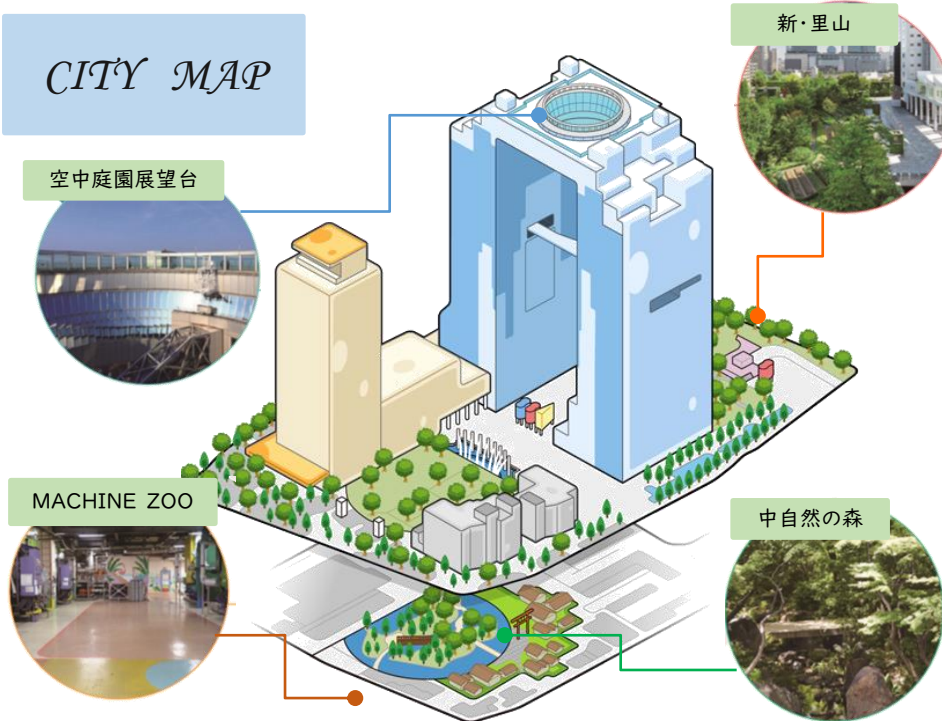
MACHINE ZOO(地下非公開エリア)

地下の熱源機械室「**MACHINE ZOO**(マシンズー)」では、様々な企業が連携し、新梅田シティ全体のCO2削減に向けて取り組んでいます。CO2削減以外にも防災の取り組みとして、停電の際に新梅田シティ全体の電力供給を行うことができる機械も設置されています。普段は見られないエリアから企業のCO2削減や防災の取り組みを学んでみてください。



非公開エリアに関わらず、壁や柱にはカラフルな動植物が描かれています。そこには積水ハウスの社員を想う企業理念が...

CITY MAP



新・里山エリア

大都会の梅田スカイビルの下には、約8,000㎡の田畑が広がっています。里山エリアでは、在来種を増やし、昆虫や鳥が訪れ自然が循環する仕組みを作り出し、自然と都会の共存を実現しています。“3本は鳥のために、2本は蝶のために”地域の在来樹種を中心に植栽計画を行う積水ハウスの「5本の樹」計画を体現した新・里山エリアで都会と自然との共存を実現する企業の取り組みを感じることができます。



中自然の森

都会に生まれた鎮守の森。大滝や溪流、溪谷など自然に囲まれたこの場所で見える風景には春夏秋冬で変化する楽しみがあり、6月にはホタルを見ることができます。ここを流れる滝は新梅田シティ全体の「水の循環」をイメージしてデザインされています。



2, 水都大阪サステナブルクルーズ

施設名	大阪水上バス株式会社
体験可能時期	通年（冬季特定運休日・春季特別期間を除く） ※体験ご希望日については要お問合せ下さいませ。
体験可能時間	10時00分発～16時00分大阪城港発着 （毎時00分発） ※上記は2025年度のスケジュールです。時期により運航スケジュールが変更になる場合もございます。
所要時間（目安）	約60分（乗船時間は50分です）
受け入れ人数	1隻 最少40名／最大98名まで ※2隻までは15分ずらしで受け入れ相談可
プログラム費用	2,640円（2,400円税別） ※39名様以下の場合も40名様分の料金買取
予約受付期間	実施日の1年前～1か月前まで
最寄り駅	JR大阪城公園駅から徒歩約5分
バス駐車場	無し （大阪城公園周辺P利用・有料）
公式HP	https://suijo-bus.osaka/

水上バス「アクアライナー」

大阪の川を35年以上ほぼ毎日運航するキングオブ大阪シップ！船の正式船名は「なにわ」といい、2号、3号、5号の3隻あります。大阪の川に架かる低い橋もくぐれるように、水面から天井までの高さが160cmしかないスマートな船体になっております。天井はガラス張り、とっても開放的。冷暖房やトイレもあって、季節・天候を問わず、快適なクルーズをお届けできます。※運航当日の天候・潮位等の理由により、全ての機能をご覧いただけない場合があります。



プログラム内容

- ・水上バス「アクアライナー」乗船（大阪城港発着／50分）
- ・船内にて講師の特別講話
テーマ「環境・地域活性・大阪の街づくりの歴史など」

プログラムからの学び

水都大阪の水辺の街づくりから学ぶ地域活性

水上バス「アクアライナー」を貸し切って、特別講師を招いて船内特別講話＆水都大阪クルーズ。都市開発まちづくりのコンサルタントとして長年、水都大阪の街の魅力づくりに尽力してきた方や水辺の街づくりに取り組まれている方をお招きして、船内講話。大阪城港を出発して、**2025年大阪・関西万博のテーマの一つである「自然との共生」の視点を取り入れ**、水辺の生き物や環境、水辺とともに発展してきた大阪の街づくりの歴史・そこに住む人々の地域活性の姿を学んでいただきます。

水とともに発展してきた大阪

水運に支えられ、経済と文化の中心的都市として発展してきた大阪。大阪は、川が都心部を口の字にめぐる「水の回廊」を中心とした世界でも稀な地形です。

大陸・諸国との交易拠点として栄えていた「水の都」大阪の歴史は飛鳥時代までさかのぼります。今、大阪ではかつての「水の都」として人々が川に寄り添う生きいきとした暮らしの風景を取り戻そうと、船着き場の整備や水辺のシンボル空間の整備、護岸や棟梁などのライトアップなど様々なプロジェクトが進められています。水とともに発展してきた大阪の魅力をクルーズしながら再発見！

2, 水都大阪サステナブルクルーズ アクアライナー運航コース

〈 50 分コース・チャータークルーズ 〉

ようこそ!

水都大阪へ!

大阪は豊臣秀吉によって町づくりが行われ、江戸時代には、全国的な商業の街として栄えました。明治時代には、「雄の都」「東洋のマンチェスター」と呼ばれる工業都市として発達し、さらに今日では、西日本の経済・交通・文化の中心として、目覚ましい発展を続ける大都市です。

そのような、近代都市・大阪ではありますが、高層ビルが立ち並び、高速道路が走る街の一角には、昔の大阪をしのばせる名高い史跡や美しい風景が、今もなお数多く残されています。そんな大阪を船上からごゆっくりとお楽しみください。

1 大阪城

みなさん、ご存じの大阪のシンボル「大阪城」。新堀野橋から眺める大阪城は、背景にビルが入らず、往時の人々が見た大阪城と同じ風景を眺められる貴重なスポットです。

2 京橋

最初にこの橋をかけたのは豊臣秀吉で、橋の名は、京都へ通じる橋という意味で付けられました。

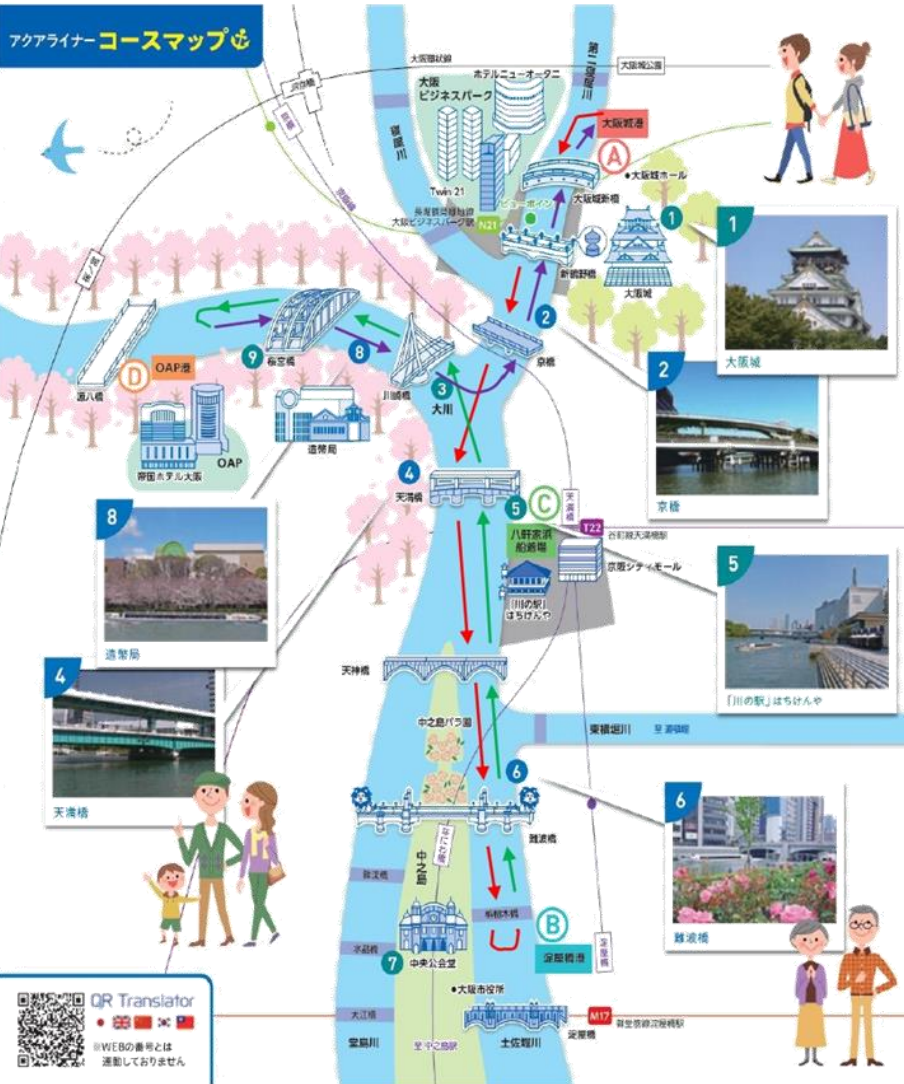
3 大川

京阪電車の鉄橋を越え、大川に入ります。別名、旧淀川と呼ばれ、淀川の付け替え工事が行われるまでは、ここが本流でした。川沿いには桜の木が植えられており、春はたいへん美しい景色を眺めることができます。

4 天満橋

かつてとても星が綺麗に見えたことから、天満の地・天満橋と呼ばれるようになったそうです。浅瀬緩和のために2階建て構造になっている少し珍しい形の橋です。

アクアライナーコースマップ



5 八軒家浜・川の駅はちけんや

八軒の船宿があったことからその名が付けられました。江戸時代には、京都・伏見と舟運でつながっており、たいへん賑わいのある場所でした。現在ではSUPやノルディック・ワークの拠点や、カフェなど、水辺の賑わいスポットとなっています。

6 難波橋

1914年に現在の橋が架けられた際に、橋の四隅の親柱にライオンの彫刻が置かれたところから、別名「ライオン橋」とも呼ばれています。船からはライオンのお尻が見えます。

7 大阪市中央公会堂(重要文化財)

1918年に建てられた赤レンガ造りの中之島のシンボルともいえる建物です。館内にはホールやレストラン、ショップなどがあります。ガーデンやヘレンケラーもここで講演したことがある、歴史ある建物です。

8 造幣局

板の通り抜けで有名な造幣局では、1円から500円までの硬貨の大半を作っています。博物館では古代の中国貨幣から現在の貨幣など、さまざまな貨幣を展示しています。

9 桜宮橋

大阪人の中では「銀橋」の愛称で親しまれる橋です。上流側と下流側に似たデザインの橋が2つ架けられているのも、この橋の特徴で、上流側の新しい桜宮橋は、世界的建築家の安藤忠雄氏による設計のものです。

時代の流れ

江戸	明治	大正
1603~1868	1868~1912	1912~1926
昭和	平成	令和(現在)
1926~1989	1989~2019	2019~

3, “食”から学ぶ防災・減災プログラム

キャリア
教育

防災・減災

食といのち

企業名	株式会社魚国総本社	
受入可能時期	通年（年末年始・GW期間除く） ※実施は1日1団体様・週2回まで。	
受入可能時間	平日・土曜 9時30分～17時 （日祝は受け入れ不可）	
所要時間（目安）	90分～約3時間 ※プログラムの組み合わせにより異なります。	
受け入れ人数	最少20名／最大80名まで	
対象	中・高校生対象	
プログラム費用（税込）	A：企業講話＋調理体験 （約2時間）	3,000円
所要時間	B：企業講話＋グループワーク （約2時間）	2,000円
	C：企業講話＋グループワーク ＋調理体験 （約2時間30分）	3,500円
	D：昼食代金	1,100円
持ち物	エプロン・マスク（調理体験）	
事前提出物	アレルギーリスト、参加者名簿 （3週間前のご提出をお願いします）	
予約受付期間	実施日の1年前～1か月前まで	
最寄り駅	JR加島駅から徒歩約7分	
バス駐車場	本社敷地内に1台駐車可能 （事前予約要・事前相談要／無料）	
公式HP	https://www.uokuni-s.co.jp/	

プログラム内容

★学校の滞在時間やご希望に合わせて以下を組み合わせ可能です★

①企業講話

※試食付

（約45分）必須

②調理体験

（約60分）

③グループワーク

（約60分）

④昼食



株式会社 魚国総本社 ってどんな企業？

1914年に大阪の地に創業し、以来、日本の給食事業の
パイオニアとして、社員食堂から学校給食、病院や福祉施
設のフードサービスを展開している魚国総本社様。
「おいしい」のはもちろん、心まで幸福感に満たされるよう
な食事。人々の活力となり明日を支えるような食事。そんな
食事の時間を提供し、全国各地の企業・施設のニーズに
応えながら社会の健康づくりにも貢献しています。

大阪創業の企業に学ぶ『食のサステナビリティ』『防災』

「おいしい」だけではない、その先の価値を。

【企業の取り組み】

「食べることは生きること」を合言葉に、
全国各地の保育園・幼稚園では、地産地消の食材を
使った給食メニューなどを提供。園児に食育の出前授業を
おこない、食を通じたサステナビリティ事業を次世代を
担う子供たちに実践されています。



また、さまざまな企業の社員食堂を運営する事業者と
して、災害時には、「お客様である企業様の活動を止め
ない」という理念のもと、災害備蓄の利用や炊き出しなどを
おこない、欠食0を実現されています。
（東北大震災・熊本震災時など）

【プログラムからの学び】

このプログラムでは、大阪で「食」を起点に事業を展開しながら、「人々の健康」
「食を通じた教育」「防災」「災害対策」などに取り組む企業のサステナビリティを
社員さんの講話（災害食レシピの試食付き）から学びます。
講話との組み合わせで選択できる「②調理体験」や「③グループワーク」では
『食』を切り口に2025年の大阪・関西万博でも欠かせないテーマである“防災”
“いのち”について考えます。

※事前学習シートあり／一部タブレットが必要なワークもあります。
（ワークテーマ等は次ページを参照ください）

3, “食”から学ぶ防災・減災プログラム ～株式会社魚国総本社～

プログラムの内容と組み合わせ

★学校の滞在時間やご希望に合わせて以下を組み合わせ可能です★

①企業講話 ※試食付 (約45分)

- ・魚国総本社の社員様から企業の取り組みについてのお話
(企業の食育や災害時の支援などの事例を含むサステナビリティ講話)
- ・講話の途中、災害食レシピの簡単な試食あり。

②調理体験 (約60分)

- ・魚国総本社の管理栄養士さんによる調理体験
(1班 生徒5-6名)
- 「災害食レシピ」を実際に調理体験してみよう!

③グループワーク (約60分)

- 事前に学校様で選択可能です。
- テーマ① 災害食レシピをグループで組み立ててみよう!
- テーマ② MY備蓄食を考えよう! ※タブレット・スマホ等端末利用必要
注) ワークの会場にWIFI環境はございませんのでご注意ください。

④昼食

- ・中高生の栄養・健康を考え、フードロスにも配慮した昼食内容です。
給食事業者様だからこそ提供できるこだわりのメニューをご用意。

プログラムでの昼食内容



- サトウキビを使った容器で提供(循環)
- フードロスに配慮しご飯は皆が食べきれる量を。
- ※別途、ごはんのおかわりは提供可。
- 栄養に配慮し、あたたかいスープも(おかわり可)

～昼食からも生徒様に学びを～

■ご飯を食べきりサイズにしたことについて
SDGs活動を推進している私たちには「食品ロス」の考え方からしても平均的な栄養価を出し、男女差、体格などに応じて「おかわり」として食べていただけたらと考えています。

■会社としての使命感
私たちの使命のひとつに「健全な食生活を伝える」ということがあります。
「食は一生継続く学び」と考え、成長期に必要な「食べる力」を伝えていけたらと思います。

学校様、保護者様へのメッセージとしても
レストランなどの施設とは違い「給食会社」を選んだ意義もそこにもあると感じてもらえる昼食内容にこだわりたいです。

(※昼食はアレルギー対応可/成分表提供可能)

プログラムについて(②調理体験)

- 魚国総本社の管理栄養士さん指導のもと調理。
- 災害を想定して、限られた水でポリ袋やカセットコンロを使用し
て体験します。備蓄って? 災害食って?
“体験”を通じて、災害時の食事についての「学び」を持ち帰ります。
※注) 調理した内容は試食程度で一食分には相当しません。



※牛乳パックやアルミホイルを使って作ったレシピイメージです。

プログラム(③グループワーク)で使用するワークシート

事前学習用

食から考える防災・減災プログラム

事前学習ワークシート

皆さんは、災害を想定して、限られた水でポリ袋やカセットコンロを使用して体験します。備蓄って? 災害食って? “体験”を通じて、災害時の食事についての「学び」を持ち帰ります。 ※注) 調理した内容は試食程度で一食分には相当しません。

1 備蓄食について調べてみよう

【課題】 食料は、災害時に必要不可欠なものです。災害時に食料が不足しないよう、災害時に必要な食料を準備しておくことが重要です。災害時に必要な食料を準備するためには、災害時に必要な食料の種類や量を把握する必要があります。災害時に必要な食料の種類や量を把握するためには、災害時に必要な食料の種類や量を把握する必要があります。

2 自分好みの備蓄食を考えてみよう

【課題】 食料は、災害時に必要不可欠なものです。災害時に食料が不足しないよう、災害時に必要な食料を準備しておくことが重要です。災害時に必要な食料を準備するためには、災害時に必要な食料の種類や量を把握する必要があります。災害時に必要な食料の種類や量を把握するためには、災害時に必要な食料の種類や量を把握する必要があります。

ワークシート

食から考える防災・減災プログラム

「MY備蓄食を考えよう!」ワークシート

皆さんは、災害を想定して、限られた水でポリ袋やカセットコンロを使用して体験します。備蓄って? 災害食って? “体験”を通じて、災害時の食事についての「学び」を持ち帰ります。 ※注) 調理した内容は試食程度で一食分には相当しません。

1 自分の好きな食べ物を挙げてみよう

【課題】 食料は、災害時に必要不可欠なものです。災害時に食料が不足しないよう、災害時に必要な食料を準備しておくことが重要です。災害時に必要な食料を準備するためには、災害時に必要な食料の種類や量を把握する必要があります。災害時に必要な食料の種類や量を把握するためには、災害時に必要な食料の種類や量を把握する必要があります。

2 選んだ食べ物が備蓄食になるか考えよう

【課題】 食料は、災害時に必要不可欠なものです。災害時に食料が不足しないよう、災害時に必要な食料を準備しておくことが重要です。災害時に必要な食料を準備するためには、災害時に必要な食料の種類や量を把握する必要があります。災害時に必要な食料の種類や量を把握するためには、災害時に必要な食料の種類や量を把握する必要があります。

(※イメージ)

魚国総本社
渡部さん

4, 万博エバンジェリストプログラム～伊藤忠商事に学ぶ“三方よし”の志～

万博開催期間までの
限定プログラム

※本プログラムは、2024年4月～2025年10月までの万博開催期間特別限定プログラムです！

施設名	おおさかATCグリーンエコプラザ
受入可能時期	通年（年末年始およびGW期間・月曜日・土日祝を除く）
受入可能時間	10時00分～17時00分 ※施設開場が10:00となります。
所要時間（目安）	約3時間
受け入れ人数	最少30名／最大100名まで
プログラム費用	約4,620円（中・高校生）
予約受付期間	実施日の1年前～1か月前まで
最寄り駅	ニュートラム「トレードセンター前駅」直結
バス駐車場	有 ※詳細はATC管理事務所（06-6615-5007）まで直接確認ください。
公式HP	https://www.ecoplaza.gr.jp/
持ち物	当日ワークはPC・タブレット等持参を推奨 ※Wi-Fi環境あり。

プログラム内容

- 【事前学習】・専用動画教材を視聴し、万博の目的であるSDGsの達成と社会的な背景を学び、自分たちが興味関心のある課題を決める(授業1コマ)
 - ・課題解決アイデアのヒントとして、様々な社会課題解決に取り組む伊藤忠商事の企業事例を動画で学ぶ。
- 【当日ワーク】・おおさかATCグリーンエコプラザの見学(約30分)
 - ・様々な企業のSDGs取組紹介／万博開催地の見学
 - ・「万博エバンジェリスト」グループワーク(約80分)
 - 伊藤忠商事の“三方よし”の考えを取り入れ、持続可能な形で社会課題解決を行うためのアイデアを考える
 - ・一人ひとりの未来に向けた“志”をまとめる
 - ・記念撮影と記念品贈呈

「万博エバンジェリストプログラム」とは・・・

- ・万博会場となる夢洲にもっとも近い会場で！
- ・大阪・関西万博のテーマでもある「SDGs達成」に向けた、数々の企業取組事例を学び、社会課題解決のアイデアを考えるとともに、学び・気づきを未来を創るための一人ひとりの“想い・志”に落とし込むプログラム！

※エバンジェリストとは、知識を身につけその情報を相手により分かりやすく伝え啓発する役割を担う人をさします。

“活きた教材”を生徒様に届ける学習のパートナー企業



社会課題を事業で解決するため、多くの企業のSDGs推進をパートナーシップで支援する同社。
SDGsやソーシャルビジネスの専門家が講師となり、当日のグループワークのファシリテーターとともに、事前学習ではSDGsの社会的背景を説明し、生徒様の社会課題に対する興味関心と理解を促します。
※写真は講師一例です。当日は別の講師の場合があります。



事前講義担当 森 優希
(EMIELD株式会社 代表取締役)



伊藤忠商事株式会社

日本を代表する総合商社の視点から、生徒様の発表に対する講評とともに、様々な社会課題解決の取り組み事例を教材として提供協力。



大阪環境産業振興センター

おおさかATCグリーンエコプラザ

約120社もの企業の環境・SDGs取組事例の展示見学ができる施設。当日はスタッフにより、企業の想い・志について案内いただくほか、間近に万博開催地を一望できる“エキスポット”は必見！

4, 万博エバンジェリストプログラム～伊藤忠商事に学ぶ“三方よし”の志～

万博開催期間までの
限定プログラム

当日のスケジュール例

※当日の進行により順番が入れ替わることがございます。

9:50		おおさかATCグリーンエコプラザに到着 (施設の開場は10:00)
10:00	イントロダクション	・当プログラムの目的・万博エバンジェリストの使命 ・グループワークの説明 (三方よしの考え方・伊藤忠商事の事例に学ぶ)
10:25	展示見学	・本プログラムと万博との関連について説明 ・施設の見学 (スタッフより環境、サステナビリティに特化した展示案内) ・自由見学および休憩
11:00	グループワーク (約80分)	・伊藤忠商事の取組事例紹介 ・ファシリテーター(講師)の自己紹介 ・グループディスカッション ・発表にむけ、“三方よし”のフレームにグループごとの アイデアを落とし込み
12:30	発表・講評 まとめ	・アイデア発表(時間により全班発表できない場合があります) ・伊藤忠商事よりビジネスの視点で講評(オンライン) ・講師によるまとめ
12:45	個人ワーク	・ワークを通じて考えた一人ひとりの未来をつくる“志”を シートに落とし込み
12:50	作品掲示 記念撮影	・専用ボードに全員の“志”を掲示 ・記念撮影と記念品贈呈 プログラム終了(13:00)

社会でSDGsを推進する第一線で活躍する企業の人たちと
関わり、理解を深めることで具体的なアクションへの一歩を。

【プログラムからの学び】

このプログラムは、SDGsの達成が必要とされる社会的背景を具体的事例と
ともに学ぶことで、様々な社会課題をジブンゴトとして捉えていただくことから
始まります。

事前学習では動画URLを事前に提供し、授業1コマの
中で講師がファシリテートしながら事例をもとに詳しく社
会課題について説明をし、生徒様の興味関心を引き出し
ていきます。



「なぜその問題は解決しないのか」「企業がその問題に取り組むのはなぜか」
「どのように取り組んでいるのか」。より具体的な解決策を導き出す本格ワーク

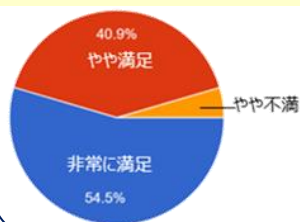


多くの企業事例を参考に、“三方よし”のビジ
ネス的かつ持続可能な解決策の視点を取り
入れられることが本プログラムの大きな特徴
です。

大阪・関西万博は、SDGs達成に向けた
世界中の具体的なアクションが一同に会す
機会。その背景とアクションを生み出す
“想い・志”に目を向けることで、より深い学び
を得る機会とし、一人ひとりの未来を創るア
クションの第一歩となることを狙いとしています。

みんなで咲かせよう、大きな“志”の花

体験した生徒たちの声



9割以上の方が満足!SDGsへの理解UP!

- ・万博の建設の現場も見れたので本当に貴重な体験でした!
- ・自分たちが未来を創る上で何が必要か考える機会になった。
- ・とても充実した時間を過ごせました!

おおさかATCグリーンエコプラザ内に
設置されている専用ボード。プログラム
を通して得た気づきをもとに、葉っぱ型
のシートに一人ひとりの未来に向けた
“志”を記入いただき掲示していきます。
未来を担う全国の学生の“志”が大き
な花となり、未来を創っていくことを表
現しています。



5, 留学生と学ぶ『万博ワークショップ』

万博開催期間までの
限定プログラム



開催箇所	大阪市内 研修施設
受入可能時期	通年
受入可能時間	9時30分～17時
所要時間（目安）	約2.5時間 ※使用言語は日本語
受け入れ人数	20名以上／40名（1クラスまで）
プログラム費用	3,000円（中・高校生） ※会場費は別途必要です。 目安料金：お一人様当たり1,000円程度
予約受付期間	実施日の1年前～1か月前まで
最寄り駅	地下鉄大阪メトロ 心斎橋駅 もしくは大阪市内会場
バス駐車場	無（お客様自身でお手配をお願いします）

WHY?

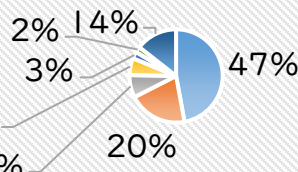
大阪でなぜ留学生？

海外から大阪を選んで留学にきた学生からは、「大阪は住みやすい」「大阪の人はやさしい」と聞いて大阪を留学地を選んだ!!という声が聞かれます。なぜでしょうか？

大阪では、大阪観光局を中心に、海外からの留学生にとって「学んでよし」「住んでよし」「働いてよし」の大阪の実現に向けてオール大阪で取り組んでおり、大阪がアジアNo1の留学生都市になることを目指しています。2021年10月末時点で日本で働く外国人労働者の数は、約173万人*。（*厚生労働省発表資料に基づく）この数は、年々増え続けており、次世代を担う皆さんが社会に出る頃には、職場の半数が外国人労働者という環境が当たり前になっているかもしれません。関西に住む留学生とともに学ぶプログラムから、様々な考えや価値観に触れ、**2025年大阪・関西万博の目指す、多様な人々が活躍する「いのち輝く未来社会の実現」**について、皆さんも一緒に考えてみませんか。

出身国別留学生数 （2021年度）

※出典：（株）日本学生支援機構
「2021（令和3）年度外国人留学生入国状況調査結果」より



- 中国
- ベトナム
- ネパール
- 韓国
- インドネシア
- 台湾
- その他

プログラム内容

- ・大阪観光局職員の方から万博についてのお話
- ・留学生とのグループワーク・発表（日本語にて）
- ・観光局様より総評・振り返り

Saving Lives
いのちを救う

Empowering Lives
いのちの力を支える

Connecting Lives
いのちをつなぐ

大阪万博のサブテーマ

「観光」という側面から大阪のまちづくりに携わる大阪観光局職員の方から、大阪観光局のお仕事、そして大阪関西万博の概要について講義を頂きます。大阪に住む多国籍留学生とともにグループワークにて、万博のテーマである『いのち輝く未来社会のデザイン』のアイデアを考え、大阪観光局の方に向け発表するプログラムです。

<事前学習>留学生が登場する教材動画を事前学習として視聴することで万博に関する予備知識をもってご参加いただくことが可能です。 ▶▶▶



サンプルスケジュール

時間	種別	内容
10:00	聴講	・講師自己紹介（大阪観光局） ・留学生の紹介／・観光局のお仕事とは？
10:15	グループ紹介	・自己紹介 ・アイスブレイク
10:30	聴講	・万博について観光局の方よりお話 ・グループワークのお題発表
11:00	グループワーク	・グループワーク・アイデア出し ・まとめ ・全体発表
12:00	総評	・大阪観光局職員の方からのコメント
12:30	グループ・個人	・振り返り・気づき共有 後、終了

中国人留学生イリヤくん
日本のアニメが大好き

留学生たちと一緒に
学ぶプログラムです！

ベトナム人留学生ホウジュリさん
「なんてやねん」「おおきに」
関西弁の響きが面白いです！

インド人留学生バルくん
研究者になるために日本へ留学！
大阪のソウルフードが大好き。

プログラム背景・目的

感染症の世界的流行を経て、人々の価値観や生き方が多様化する転換期において開催される万博は、人々が改めて様々ないのちと向き合い、持続可能な未来社会のあり方を模索する場となります。**万博が開催される意義、万博が目指す未来社会について講義から理解を深めていただくとともに、本プログラムでは、多様な文化と背景をもつ留学生とともに学ぶことで、他者の考えを受け入れ、多角的な視点で新たなアイデア・気づきを創出する事を目的としています。**

6, “食”から探究！留学生とダイバーシティウォーク

実施場所	なんば～心斎橋周辺
受入可能時期	通年（年末年始およびGW期間を除く）
受入可能時間	9時30分～17時00分
所要時間（目安）	約4～5時間（昼食時間を含む）
受け入れ人数	最少20名／最大80名まで
プログラム費用	5,500円（消費税込）※料金改定予定
費用に含むもの	留学生の同行費用（5～6名に1名の留学生） スタート会場費用 事前学習動画教材（授業1～2コマ） 専用ワークシート ※昼食代を含む個人的費用は実費です。
予約受付期間	実施日の1年前～2か月前まで
最寄り駅	地下鉄大阪メトロ なんば駅またはその付近
バス駐車場	無（お客様自身でお手配をお願いします）
使用言語	日本語 ※外国人インタビュー時はこの限りではありません。
持ち物	筆記用具、事前学習のワークシート カメラ・スマホなど写真撮影できるもの

プログラム内容

【事前学習】事前教材動画から“ダイバーシティ（共生社会）”について考える

動画①様々な人が一緒に暮らす社会

動画②多様な人が安心して暮らすための今の工夫

動画③“食”のダイバーシティ！フードピクトとは？

※利用校様のカリキュラムに合わせ、授業コマ数は設定ください。

【当日ワーク】外国人留学生とともに大阪の街をフィールドワーク

①事前学習で学んだ共生社会の視点をもって、街の魅力と課題を調査し、街をより良くするアイデアを考える

②留学生との交流、外国人へのインタビューを通じて多様な文化や価値感を知り、様々なバリアを越える視点を身につける。

大阪の街は、“多様性”を学ぶ最適なフィールド！

価値観の多様化が急速に進み、訪日外国人・在留外国人も急増する現代において、異なる価値観を知り、受け入れ、共に暮らすための工夫や互いに助け合うためのアイデアを考えることは非常に重要なことです。

多くの外国人が暮らし訪れ、万博開催地である大阪は、様々な“思いやりのコミュニケーションや工夫”を見つけられるとともに、留学生の視点から街の課題やさらに必要な工夫を学ぶことができます。グループごとに興味関心のあるテーマを決め、様々なバリアを越える視点を養う探究フィールドワークを実践！

【テーマ例】世界共通のテーマ「食」。多様な人が安心して同じテーブルで一緒に食事を楽しむには？



世界には3人に1人の割合で食べられないものがあるひとがいます。その理由も様々。「食」をテーマに多様な文化や背景に目を向け、必要だと思う工夫や、街中にある様々な思いやりのマークや表示を発掘してみましょう。

【スケジュール例】

9:50	集合	なんば駅周辺 指定会場にご集合
10:00 ～ 10:50	導入・ 交流・ 説明	・フィールドワークの目的（ゴール）の説明 ・事前学習の振り返り ・留学生の紹介とグループ内での自己紹介（アイスブレイク） ・フィールドワークの方法、注意点の説明
11:00 ～ 14:00	探索・ 昼食・ 交流	・ダイバーシティウォーク（まちの魅力と課題を見つけよう！） ⇒見つけたポイントを写真で撮影、マップに位置をチェックしよう ・外国人観光客にインタビュー（外国人から見る魅力と課題） ・留学生とともに昼食（多国籍料理や大阪の食文化を体験）
14:10 ～ 14:30	まとめ 終了	・班ごとに感じたことや考えをまとめ班メンバーで共有しよう ・留学生とお別れの挨拶をしてプログラム終了

本プログラムは関西在住の留学生の協力により、アンケート調査などから日本在住外国人の“生の声”をもとにプログラム化をしました！

私たちも一緒に
創りました！



リンさん・柳さん・ヨウさん 10

7, 留学生と学ぶエコウォーク ～新梅田シティde“しぜんと考える”～

施設名	梅田スカイビル 空中庭園展望台
受入可能時期	通年
受入可能時間	9時30分～17時
所要時間（目安）	約4時間
受け入れ人数	最少20名／最大120名まで
プログラム費用	4,500円（中・高校生）
予約受付期間	実施日の1年前～2か月前まで
使用言語	おもに日本語

※留学生はガイドではありません。日本人学生と一緒に学ぶフィールドワークです。
上記プログラムの費用には留学生との交流4時間の費用が含まれています。

※協働学習を目的とするため、英語学習ではありません。（原則は日本語コミュニケーション）

※本プログラムは「多様な考え方を受け入れる」を主旨としており、留学生の国籍の事前指定は受け付けておりません。（傾向として、関西への留学生はアジア圏の方が多いです）

スケジュール例

9:30	梅田スカイビル 指定会場にご集合 留学生紹介、各グループに合流
10:00	積水ハウス梅田オペレーション株式会社様による サステナビリティ講話（質疑応答あり）30分
10:30	
11:00	非公開エリア「MACHINE ZOO（マシンズー）」見学
～	「中自然の森」 「新・里山」 班別フィールドワーク
12:00	
12:00	・空中庭園展望台（39階・40階・屋上エリア）自由見学 ・地下レトロ食堂街や、新梅田シティ内にて留学生との 意見交換&交流タイム
13:50	
14:00	梅田スカイビル1階広場に集合・解散

WHY?

大阪でなぜ留学生？



海外から大阪を選んで留学に来た学生からは、「大阪は住みやすい」「大阪の人はやさしい」と聞いて大阪を留学地を選んだ!!という声が聞かれます。なぜでしょうか？

大阪では、大阪観光局を中心に、海外からの留学生にとって「学んでよし」「住んでよし」「働いてよし」の大阪の実現に向けてオール大阪で取り組んでおり、大阪がアジアNo1の留学生都市になることを目指しています。

2021年10月末時点で日本で働く外国人労働者の数は、約173万人*。
（*厚生労働省発表資料に基づく）この数は、年々増え続けており、次世代を担う皆さんが社会に出る頃には、職場の半数が外国人労働者という環境が当たり前になっているかもしれません。

留学生とともに学ぶプログラムから、様々な考えや価値観に触れ、**2025年大阪・関西万博の目指す、多様な人々が活躍する「いのち輝く未来社会の実現」**について、皆さんも一緒に考えてみませんか。

プログラム内容

- ①自然との共生に取り組む企業からの講話（30分）
 - ②専用ワークブックを用いて「中自然」「里山エリア」散策
 - ③非公開エリア「MACHINE ZOO（マシンズー）」入場
 - ④「空中庭園展望台」入館
- ※スカイビル地下レトロ食堂街「滝見小路」にて食事券手配も可能です。
（500円単位で金券手配可）

万博テーマとの連動

多文化理解・多文化共生

2025年大阪・関西万博では、一人ひとりが互いの多様性を認め、「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現を目指し、様々なテーマが設定されています。

当日、専用
ワークブック配布！



7, 留学生と学ぶエコウォーク ～新梅田シティde“しぜんと考える”～

プログラムからの学び

自然との共生

多文化理解

①企業と企業が連携し、SDGs達成に向けて取り組む姿を学ぶ。

2025年大阪・関西万博のテーマにも連動する「自然との共生」を実践する新梅田シティ～空中庭園展望台。ここで自然との共存を実現する積水ハウスの理念に触れながら、生徒様が自然と考え、学べるプログラムです。

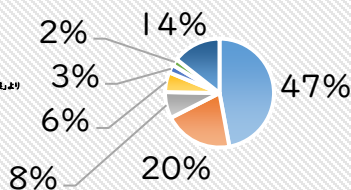
②留学生との交流・対話により、多様な価値観から学ぶ。

「ラオスの気候って日本とどう違う?」「ベトナムの都心部に公園や緑あふれる場所はある?」「中国で多い災害は?」など…

プログラムを通じて、身近な話題から日本と留学生の国の違いに目を向け、それぞれの文化や環境の違いを考えるキッカケをうながすことを目的としています。(対話のヒントになるコミュニケーションシートを当日配布いたします)

出身国別留学生数 (2021年度)

※本資料は、日本学生支援機構
「2021(令和3)年度外国人留学生の在留状況調査結果」より



■ 中国
■ ベトナム
■ ネパール
■ 韓国
■ インドネシア
■ 台湾
■ その他

MACHINE ZOO (地下非公開エリア)

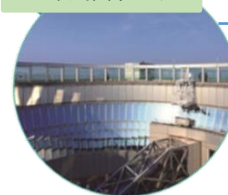
地下の熱源機械室「MACHINE ZOO (マシンズー)」では、様々な企業が連携し、新梅田シティ全体のCO2削減に向けて取り組んでいます。CO2削減以外にも防災の取り組みとして、停電の際に新梅田シティ全体の電力供給を行うことができる機械も設置されています。普段は見られないエリアから企業のCO2削減や防災の取り組みを学んでみてください。



非公開エリアにも関わらず、壁や柱にはカラフルな動植物が描かれています。そこには積水ハウス様の社員を想う企業理念が…

CITY MAP

空中庭園展望台



MACHINE ZOO



新・里山



中自然の森



新・里山エリア

大都会の梅田スカイビルの下には、約8,000㎡の田畑が広がっています。里山エリアでは、在来種を増やし、昆虫や鳥が訪れ自然が循環する仕組みを作り出し、自然と都会の共存を実現しています。“3本は鳥のために、2本は蝶のために”地域の在来樹種を中心に植栽計画を行う積水ハウスの「5本の樹」計画を体現した新・里山エリアで都会と自然との共存を実現する企業の取り組みを感じることができます。



中自然の森

都会に生まれた鎮守の森。大滝や溪流、溪谷など自然に囲まれたこの場所で見える風景には春夏秋冬で変化する楽しみがあり、6月にはホテルを見ることができます。ここを流れる滝は新梅田シティ全体の「水の循環」をイメージしてデザインされています。

8, 大阪発！コミュニケーション教育『世界とつながるグリーティング』 (ナイトプログラム)

受入可能時期	通年
受入可能時間	18時00分～21時まで
所要時間（目安）	約1時間（夕食後のナイトプログラム）
受け入れ人数	最大160名まで
プログラム費用	1団体様 220,000円税込 (中・高校生) ※会場は別途お客様にてお手配。 宿泊ホテルの夕食会場等をご利用ください。
予約受付期間	実施日の1年前～1か月前まで
開催場所	大阪府内 宿泊ホテルの会場等 ※大阪府外の会場の場合、別途、講師の交通費が発生します。

WHAT? グリーティングとは?

グリーティングとは、相手を思いやり、心の距離を縮めるコミュニケーションのひとつです。皆さんはテーマパークに行き、明るい笑顔のマスコットキャラクターが自分に向けて手を振ってくれると、言葉を交わしてもいいのに、自然と心が通じたようなあたたかな気持ちになった経験はありませんか？
「言葉がなくても気持ちが通じる、心が通う」
これはまさに、テーマパークのマスコットキャラクター達がグリーティングメソッドを使って、私たちに全力で手を振ってくれているからなのです。



プログラム背景・学び

感染症の世界的流行を経て、人々の価値観や生き方が多様化する転換期において開催される万博は、**人々が改めて様々ないのちと向き合い、持続可能な未来社会のあり方を模索する場**となります。プロパフォーマーから楽しみながら、コミュニケーションについて学び、**多様な人々とつながっていく喜びを感じるきっかけへとつなげていきます。**

万博サブテーマとの連動



～いのちに力を与える～
「生活」を豊かにする／可能性を広げる

自己実現・表現

芸術・学び

プログラム内容

日本有数のテーマパークでショーをおこなった経験をもつファシリテーターと共に国内様々なイベントで活躍する現役エンターティナーのステージを鑑賞し、**グリーティングの奥深さを見て、学んで、体験するプログラム**です。
ステージを実際に鑑賞し、人を喜ばせ、人との距離を縮める極意を学びます。
フレンドリーであったかい町「大阪」で人との距離を縮める「グリーティングスキル」、「ノンバーバルコミュニケーション」について楽しく体験し、学ぶだけではなく、**2025年大阪・関西万博を見据え、言葉の壁を越えて、世界中の人々とつながる喜びを体感するきっかけにつなげていきます。**

サンプルスケジュール&プロパフォーマー例

時間	内容	パフォーマー
5分	オープニング ご挨拶&グリーティングとは？	ファシリテーター 1名
15分	グリーティングの世界 ～テーマパークのコミュニケーションから学ぼう！～ 表情・身振り・手振りを交えてファシリテーターが一体感のある会場作りをおこないます。	自己表現 ファシリテーター 1名
20分	SHOW TIME!! プロパフォーマーによるステージを鑑賞しよう。 現役エンターティナーによるステージショーは圧巻！	芸術・学び プロパフォーマー 1組
15分	ステージの振り返り 「人を喜ばせることは？」 ～直後に解説！ ステージショーに隠されたホスピタリティの秘密～	ファシリテーター 1名 プロパフォーマー 1組
5分	記念撮影	全員



シンクロニシティ

京都大学出身の
異色のコンビパフォーマー
ジャグリングフェスティバル優勝経験者

【メディア出演歴】

- ・NHK「ぐるっと関西おひるまえ」
 - ・日本テレビ「行列のできる法律相談所」
 - ・TBSテレビ「クイズ！THE違和感SP」
 - ・MBS毎日放送「ちんぷいぷい」
 - ・読売テレビ「大阪ほんわかテレビ」
- など多数。



平井夢乃 (hirai yumeno)

大阪出身のバントワラー
バントフライング世界チャンピオン

【出演歴】

- ・御堂筋ランウェイ 他
- 【受賞歴】
- ・世界バントワリング選手権大会 フリースタイルペア シニア金メダル
- ・バントワリング全国大会 グランプリ
- ・内閣総理大臣杯 受賞など多数

9, 大阪の歴史に学ぶ「金融教育プログラム」

企業名	①大同生命保険株式会社大阪本社 (加島屋・広岡浅子特別展示) ②株式会社大阪取引所 ※ 2 か所の訪問を含むプログラムです。
受入可能時期	平日 (土日祝は受け入れ不可)
受入可能時間	10時00分～16時00分
所要時間 (目安)	約3時間
受け入れ人数	最少10名／最大40名まで ※ 午前・午後の入れ替いで80名まで 対応も可能。
プログラム費用	1,320円 (中・高校生)
予約受付期間	実施日の1年前～1か月前まで
最寄り駅	①大阪メトロ四つ橋線 肥後橋駅すぐ ②大阪メトロ堺筋線 北浜駅すぐ
バス駐車場	無し ※降車後、回送ください。
公式HP	■ 大同生命保険 (株) 大阪本社 (加島屋・広岡浅子特別展示) https://www.daido-life.co.jp/knowledge/memorial/ ■ (株) 大阪取引所 (見学施設のご案内) https://www.jpx.co.jp/corporate/learning/tour/ose/01.html
持ち物	筆記用具
事前学習	事前学習ワークシートのご提供あり ※ ご予約の団体様には、授業1コマ 約45分程度 を利用して取り組めるワークシートと教員様手引きをご 提供いたします。

大阪は 世界初!先物取引発祥の地

大阪の街は、金融教育に最適なフィールド!

世界初の先物取引は、江戸時代の「大坂」堂島米市場で始まったといわれています。**当時の大阪は世界最先端の商いの中心地**だったのです。江戸時代の金融都市として栄えた「大坂」で大商人として富を築いた豪商*1「加島屋」。この加島屋を源流に1902年に創業した企業が「大同生命保険株式会社」です。大同生命の創業者の一人である広岡浅子は、近代日本の女性実業家のさががけて連続テレビ小説「あさが来た」(NHK)のヒロインのモデルにもなりました。

(*1:豪商とは、巨万の富を蓄えた大商人のことを指します)

散策にも楽しい水辺の街 大阪の景色も見どころ満載

本プログラムで訪問する「大同生命保険株式会社大阪本社(加島屋・広岡浅子特別展示)」や「株式会社大阪取引所」のそばえたつ「中之島・周辺エリア」は古くから経済・文化・行政の中心であり、現在でもオフィスビルや風格ある歴史的な建造物が立ち並んでいます。オフィスビル群の景色と水都大阪の水辺の魅力を感じて、楽しみながら散策して学べるフィールドがあるのは大阪ならではの魅力です。



プログラムのポイント

- ①**探究学習**にも最適!
2022年に必修化された「金融教育」について興味関心を高める機会に。
- ②江戸時代、**世界に先駆けた最先端の金融都市**だった「大坂」の地で水都大阪ならではの景色を散策・楽しみながら、学べる
- ③株式取引についてプロから学び、**金融リテラシーを高める**キッカケに。

プログラムの内容

【事前学習】ワークシートを活用した授業1コマの事前学習のご用意あり。

【当日の内容】

- ・大同生命保険(株)大阪本社 社員の方による「加島屋」展示説明
- ・大同生命～大阪取引所までの移動を含むフィールドワーク
- ・(株)大阪取引所 社員の方による展示説明・取引シミュレーション体験

9, 大阪の歴史に学ぶ「金融教育プログラム」

サンプルスケジュール(企業訪問2か所を含むフィールドワーク)

時間	場所	内容
10:00	大同生命保険株式会社 大阪本社 (加島屋・広岡浅子特別展示)	社員の方より概要説明
10:10	加島屋見学とビデオ視聴	社員の方より展示案内
11:00	フィールドワーク出発 ■堂島米会所跡 ■手形交換所など 水都大阪らしい中之島の景色を眺めながら、米取引ゆかりの場所が取引所までの道中で見学できます。	各自で自由に散策しながら 大阪取引所を目指す
11:45	大阪取引所	社員の方より展示案内 取引シミュレーション体験
12:45頃	終了・出発	

散策エリア参考

(大同生命～大阪取引所までは最短で徒歩約15分程度です)



学びのパートナー企業ご紹介(訪問企業様について)



大同生命 大同生命保険(株)

大同生命保険(株)は、中小企業に向けた保障に特化した事業を運営される生命保険会社です。今回のプログラムで訪問する大阪本社ビルがそびえ立つ場所は、江戸時代に大同生命の礎を築いた「加島屋」(今回のプログラムで展示見学)があった場所です。

今回のプログラムでは、豪商・加島屋が江戸時代に発展させた金融の歴史を映像や展示で学んでいただけます。また加島屋を明治時代に経営危機から救った女性実業家・広岡浅子や著名な建築家・ヴォーリスなど、女性活躍や建築など様々な学びを深めていただくことができます。



【大同生命メモリアルホール】

ヴォーリスが設計したビルの遺構で、江戸時代の金融の歴史や広岡浅子といった日本の発展に貢献した人物を貴重な資料でご案内します。



(株)大阪取引所

(株)大阪取引所は、株式などの金融商品の売買ができる市場を提供する取引所の運営を行っています。大阪取引所の前身である大阪株式取引所は、1878年(明治11年)に金相場会所の跡地に設立されました。1935年に建て替えが行われ、2004年にはその一部を残して高層ビルに生まれ変わりました。

今回のプログラムでは、ビル5階のギャラリーにおいて、社員による案内付きの見学を通して大阪取引所の歴史や世界における組織的な先物取引所の先駆けとして広く知られている堂島米会所について学んでいただいた後、シミュレーション用端末を用いて株式の取引を体験いただき、経済と株価の関係について学んでいただけます。

ビル1階のアトリウムは、アール・デコ調の意匠とともに大型ビジョンに映し出されるリアルタイムの株価を眺めていただくことで、今と昔を一度に味わうことができる空間となっています。



★探究学習のご提案にも活用可能★

プログラムをご予約いただいた学校様には事前学習ワークシートもご用意しています!

(先生の学習指導手引き付き/授業1コマ分)

※ワークシート・指導手引き書は教科書出版会社の大修館書店様が作成しています。



10, 潜入！自動車研究所～損保ジャパンと日産EVに学ぶ！未来社会とリスクマネジメント～

万博開催期間までの
限定プログラム

実施場所	損保ジャパン 大阪自動車研究所
受入可能時期	通年 平日：月・木・金 (上記以外の曜日は受け入れ不可) ※2025年10月までの受入となります。
受入可能時間	13時00分～17時00分
所要時間(目安)	約2時間～2時間30分程度
受け入れ人数	最少20名／最大40名まで
プログラム費用	一人あたり 2,500円(中・高校生)
予約受付期間	実施日の1年前～3か月前まで
最寄り駅	大阪メトロ 南港ポートタウン線 フェリーターミナル駅3番出口より徒歩4分
バス駐車場	有り(事前予約要・駐車料無料)
公式HP	■損保ジャパン 大阪自動車研究所 https://www.sompo-bss.com/facility/
持ち物	筆記用具

プログラムの内容

- ・大阪自動車研究所の説明・施設内見学
- ・日産大阪販売株式会社 社員の方による取り組み紹介・EV車両 実車体験など
- ・損害保険ジャパン 社員の方による企業講話・グループワーク

プログラムのポイント・学び

キャリア教育

SDGs学習

- ☞ 日産自動車の電気自動車に触れ、社員の方のお話が聞ける！
- ☞ SDGsを実践する企業の姿を実際に学ぶことができる
- ☞ 様々な分野の企業が連携して社会活動が成り立っていることを知る(自動車業界×保険会社)
- ☞ 保険会社の仕事が自分達の身の回りの生活の身近なところとつながっていることをワークを通じて学び、リスク想定の世界を養う。

サンプルスケジュール

時間	スケジュール	内容
14:00	大阪自動車研究所 到着・見学	社員の方より研究所の紹介・見学
14:15	日産大阪販売による講演	・日産EV実車見学・EV車開発背景や企業の取組紹介
15:00	損害保険ジャパン企業講話	・損害保険会社の仕事とは？ ・世の中のリスクとは？
15:15	グループワーク ＜テーマ例＞ 「空飛ぶクルマ」 「たこ焼き屋」 「大阪で考える住みたい場所」	・損害保険ジャパン株式会社の社員さんファシリテーターのもと、様々なケースを想定して、私たちの身近な社会にひそむリスクについて、グループで考えます。
16:15	プログラム終了	



＜グループワーク事例＞

「世の中を取り巻くリスクを考えよう！～テーマ：たこ焼き屋～」

飲食業(例：たこ焼き屋)を経営すると想定した時に、そこにはどんなリスクが隠されているでしょうか？ トラブルや天候などの外的要因によるリスクやたこ焼きそのものから発生するリスクなど、一つの事象に潜む様々な問題を多角的にとらえ、グループで考えて、模造紙に書き出して深堀りしていきます。

リスクマネジメントを専門的にこなう保険会社の立場から、社員の方々にアドバイスをいただきながら、ワークを進めていき、最後はグループ発表をおこないます。

このワークを通じて、テーマについて考えるだけでなく、「SNS等を普段からなにげなく多用している自分たちの生活の中にもリスクはないか」、「自分の行動がどんなリスクにつながるか」等を改めて考えてみるきっかけを提供し、今回のワークで考えたことを自分たちの生活へとつなげてジブンゴト化していきます。

損保ジャパン大阪自動車研究所とは？

自動車整備士の技術向上をはかるため、最新設備を備えた研修施設と安心・快適な宿泊施設を完備しています。地球環境にも配慮し、屋上緑化・太陽光発電・コージェネ発電や雨水利用トイレなどにより、低エネルギーで持続可能な施設運営を実現しています。

施設内では、自動車整備と板金・塗装の技術の習得が可能です。

<特徴>

- 自動車整備に関わる様々な技術研修が可能
- 豊富な研修室と充実した設備
- 長期間の研修でも快適な宿泊設備を併設
- 地球環境の保全に配慮した建物・設備



学びのパートナー企業ご紹介

日産大阪販売株式会社ってどんな会社なの？

【概要】

日産大阪は、全国にある日産の正規ディーラーのひとつ。

店舗展開の規模は、関西はもちろん、国内でもトップクラスに入ります。

日本最大級で大阪府唯一の日産系販売会社（106店舗）

従業員数は、2,287名。女性社員は350名で女性比率15.3%（2023年4月現在）

【事業内容】 新車販売のみならず、中古車販売、車のメンテナンス、電力販売、保険事業などを展開。

【その他の取組み】

府内の小学校へ「**日産わくわくエコスクール**」を展開しており、**地球温暖化と電気自動車**を題材に環境問題を考えていただく場を設けて、地域貢献、社会貢献に注力しております。

2022年から3年連続で大阪マラソンのスポンサーとして日産の電動車がコース内を先導し、大会をサポートしました。



WHY?



なぜ保険会社が自動車研究所を保有、運営しているの？

本プログラムは、損害保険ジャパン株式会社（以下、損保ジャパン）の所有する大阪自動車研究所内で実施します。なぜ、保険会社が自動車の研究所を所有しているのでしょうか？ それは損保ジャパンのお客様の層に大きく関係しています。損保ジャパンの約半数近くの契約を占めているのが「自動車保険」です。

「自動車保険」は偶然な事故により損失を受けた際に経済的補償を受けられるものですが、損保ジャパンでは、保険での補償のみでなく、事故の際に、損傷してしまったお客さまの大切なお車を修理するため、自動車整備事業者の整備技術やお客さまサービスも大切な責任と考えています。整備士の最新技術の習得や対応力の強化に積極的にに関わり、全国から集まる受講生に当施設での研修を通じて、多くの優秀な整備士を輩出するために、保険会社でありながら、こういった自動車研究所の運営にも携わっているのです。

損害保険ジャパン株式会社ってどんな会社なの？

【概要】

1888年10月に誕生し、**日本で初めて火災保険を販売**した保険会社です。

全国にサービス拠点を持つ、国内最大級の保険会社として、全国のお客さまに

損害保険を中心としたお客さまの「安心」「安全」「健康」に資する総合サービスを提供しています。

【事業内容】 国内損害保険事業

【その他の取組み】

自然災害による被害を少しでも減らすために、災害に強い地域社会づくりに取り組みます。また、社会、地域貢献活動推進など、事業活動全般を通じて、**サステナブルな社会の実現**に取り組んでいます。



© JAPAN-DA



11, 大阪の企業家精神に学ぶ ～豊かな社会の実現に向けて～

企業名	①大阪商工会議所 大阪企業家ミュージアム ②野村證券株式会社
受入可能時期	平日 火～金 (月・土日祝は受け入れ不可)
受入可能時間	10時00分～17時00分
所要時間(目安)	約3時間
受け入れ人数	最少10名/最大80名まで
プログラム費用(税込)	2,640円(中・高校生)
予約受付期間	実施日の1年前～1か月前まで
最寄り駅	大阪メトロ 堺筋線、中央線・堺筋本町駅 より徒歩5分
バス駐車場	無し ※降車後、回送ください。
公式HP	■大阪企業家ミュージアム https://www.kigyoka.jp/ ■野村ホールディングス https://www.nomura.com/jp/
持ち物	筆記用具

プログラムのポイント

①キャリア教育にも最適!

企業家精神を紐解く7つのキーワード(志・変化・先見性・挑戦・創意工夫・自立自助・意志)を学び、**自身の将来・進路に意識をかける機会**に。

②A『鷹の爪団の株式のススメ』では、動画や株式売買をモチーフにしたゲーム形式のアクティビティを通じて、**楽しみながら株価の変動要因や、投資の社会的意義を学ぶ**ことができます。

B『Nomuraビジネス・チャレンジ』は、何気ない気づきや、こんな世の中にしたという情熱から生まれる**イノベーションにチャレンジするグループワーク**です。

おすすめ情報掲載サイト ■man@bow まなぼう <https://manabow.com/>

大阪の「企業家精神」は、時代の変化を生き抜くチカラ

大阪は日本の経済社会を牽引する企業が多く生まれたまち。大阪企業家ミュージアムにて、大阪を舞台に活躍した企業家の事績を通じて、高い志、チャレンジ精神、創意工夫など、予測不可能なこれからの時代を生き抜くために必要な視点や気づきを得ることができます。

金融経済教育授業では、株式の売買体験を通じて、投資が豊かな社会の発展につながることを理解し、一人ひとりが自立して安心かつ豊かな生活を送る力を育み、イノベーションワークでは起業を身近に感じ、課題を自ら発見し、他者と協働しながら新しい価値を創造する力を育むことを目的としています。

サンプルスケジュール

※実施会場の事情により訪問順が前後することがございます。

時間	プログラム・場所	内容
13:00	大阪企業家ミュージアム (約70分)	職員より概要・展示説明 ビデオ視聴、自由見学
14:15	移動	徒歩にて
14:30	(原則、隣接マイドームおおさか) 野村證券株式会社による 金融経済教育授業 (約90分)	・社員講話(30分) + <選択制> AもしくはBをご選択 A『鷹の爪団の株式のススメ!』 B『Nomuraビジネス・チャレンジ』 (各60分)
16:00頃	プログラム終了・出発	

大阪企業家ミュージアム

The Entrepreneurial Museum of Challenge and Innovation

江戸時代「天下の台所」として日本経済の中核を担い、その後も「商都」として栄えた大阪。その歴史を色濃く残す「船場」に大阪企業家ミュージアムはあります。

同施設は、大阪商工会議所が2001年に設立。明治以降、大阪を舞台に活躍した105名の企業家の事績を紹介し、「あきらめずに最後までやりぬくチャレンジ精神(企業家精神)」を次代を担う小中高生、大学生、そして社会人に伝えています。



NOMURA

野村グループは、1990年代から幅広い世代を対象とした金融経済教育に取り組んでいます。なかでも次世代を担う子どもたちを対象にした学びの場づくりに大きな力を注いできました。

金融・経済に関する知識と理解は、正しい資産形成のためだけではなく、長期的な視野で健全な資本市場の育成をしていく上で重要だと考えています。人々の金融リテラシー向上、そして豊かな社会の実現に寄与することを願っています。

